

平成 27 年度 施政及び予算（案）の概要

1. 予算総括表	1
2. 予算（案）の概要	2
3. 主要施策の概要	3
4. 主要施策	4～18
（Ⅰ）安心・支えあい最優先	4～8
（Ⅱ）子育てしやすさ日本一	9～13
（Ⅲ）緑・住みやすさ最先端	14～18
持続可能な財政運営	18

平成 27 年（2015 年）2 月

箕面市

1. 平成27年度（2015年度）予算総括表

単位：千円、%

会 計		平成27年度 (2015年度) A	平成26年度 (2014年度) B	増 減	
				増 減 額 C (A-B)	増 減 率 C/B
一 般 会 計		41,920,000	41,040,000	880,000	2.1
特別会計	財 産 区 事 業 費	1,841,908	2,076,096	▲ 234,188	▲ 11.3
	国 民 健 康 保 険 事 業 費	16,872,073	13,711,439	3,160,634	23.1
	介 護 保 険 事 業 費	8,929,663	8,714,849	214,814	2.5
	公 共 用 地 先 行 取 得 事 業 費	0	70,345	▲ 70,345	皆減
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業 費	1,873,045	2,021,040	▲ 147,995	▲ 7.3
	特別会計の計		29,516,689	26,593,769	2,922,920
企業会計	病 院 事 業 会 計	10,268,440	12,082,535	▲ 1,814,095	▲ 15.0
	水 道 事 業 会 計	3,766,412	4,254,690	▲ 488,278	▲ 11.5
	公 共 下 水 道 事 業 会 計	3,273,522	3,105,984	167,538	5.4
	競 艇 事 業 会 計	49,918,368	35,706,743	14,211,625	39.8
	企業会計の計		67,226,742	55,149,952	12,076,790
合 計		138,663,431	122,783,721	15,879,710	12.9

***** 平成27年度予算の主な変化 *****

《一般会計・歳入》

- ・人口増や企業の業績回復、税制改正に伴う市民税の増収などにより、市税収入全体で約2億円増加する見通しです。
- ・積立基金の取り崩しを必要最小限度の約3億円に抑制し、小中一貫校の増築など将来の財政需要に備え、学校教育施設整備基金などへの積立を行った結果、基金残高は約6億円増加する見通しです。
- ・市債残高は、約20億円返済する一方、都市計画道路の整備や箕面駅前駐車場・駐輪場の建替などに約26億円発行することから、約6億円増加する見込みです。なお、臨時財政対策債は限度額まで全額発行せず、13億円の発行に抑制しています。

《一般会計・歳出》

- ・都市計画道路の整備や箕面駅前駐車場・駐輪場の建替などにより、土木費は約20億円増加しました。
- ・子ども・子育て支援新制度の開始に伴う認可保育所の増などにより、民生費は約3億円増加しました。
- ・全小中学校への電子黒板と校内無線LAN環境の整備完了などにより、教育費は約5億円減少しました。

《全会計》

- ・SG競走「第30回グランプリ(賞金王決定戦)」主催のため競艇事業会計の予算規模が大幅に拡大することから、全会計の予算総額が約159億円増加しました。

2. 予算(案)の概要

<>の数値は、前年度との比較

当初予算の全体像

- ◆ **一般会計の予算額** 419億20百万円 <+8億80百万円、+2.1%>
 扶助費など社会保障関係費の増加、都市計画道路の整備など普通建設事業費の増加等により予算規模は増加
- ◆ **全会計の予算額** 1,386億63百万円 <+158億80百万円、+12.9%>
 (特別会計・企業会計を含む)
 競艇事業会計において、SG競走「第30回グランプリ(賞金王決定戦)」を主催するため、予算規模が拡大
- ◆ **一般会計の主な歳入の状況**
 - ・ **市税収入** 226億5百万円 <+1億96百万円、+0.9%>
 人口増や企業の業績回復、税制改正に伴う市民税の増収などにより、市税収入全体で約1億96百万円の増加
 - ・ **国庫支出金** 76億21百万円 <+16億42百万円、+27.5%>
 子ども・子育て支援新制度移行に伴う認可保育所等の増加、都市計画道路「萱野東西線」「芝如意谷線」の整備や箕面駅前駐車場・駐輪場の建替などにより、国庫支出金は約16億42百万円の増加
 - ・ **市債** 26億8百万円 <+10億96百万円、+72.5%>
 都市計画道路「萱野東西線」「芝如意谷線」の整備、箕面駅前駐車場・駐輪場の建替などに伴う市債の増加
 - ・ **競艇事業会計繰入金** 6億円 <±0億円、±0.0%>
 収益向上策の強化などにより、前年度と同額の6億円の繰入金を見込む。
 約59百万円を北大阪急行線延伸の詳細設計に活用、約4百万円を北大阪急行線延伸に係る市債の利子償還分に活用、約5億37百万円を『北大阪急行南北線延伸整備基金』へ積立
- ◆ **一般会計の主な歳出の状況**
 - ・ **扶助費** 102億73百万円 <+10億3百万円、+10.8%>
 子ども・子育て支援新制度移行に伴う認可保育所等の増加、児童数の増に伴う児童手当の増加など
 - ・ **普通建設事業費(施設整備工事など)** 42億26百万円 <+5億83百万円、+16.0%>
 都市計画道路「萱野東西線」「芝如意谷線」の整備や箕面駅前駐車場・駐輪場の建替など
 - ・ **積立金** 9億73百万円 <▲3億7百万円、▲24.0%>
 『北大阪急行南北線延伸整備基金』、『学校教育施設整備基金』への積立など

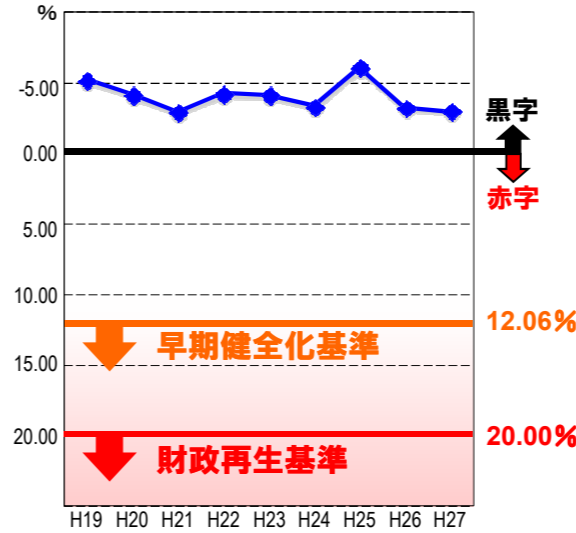
健全化判断比率の状況

平成26年度以前は決算(見込み)、平成27年度は当初予算後の数値による試算。いずれも数値が小さいほど健全。早期健全化基準を超えた団体は、破たん一步手前の状況で、早期に財政の立て直しが必要。(イエローカード) 財政再生基準を超えた団体は、破たん状態とみなされ、国の関与のもと厳しい財政の再建が必要。(レッドカード)

◆ 実質赤字比率

一般会計の赤字の程度で、財政運営の深刻度を示す。

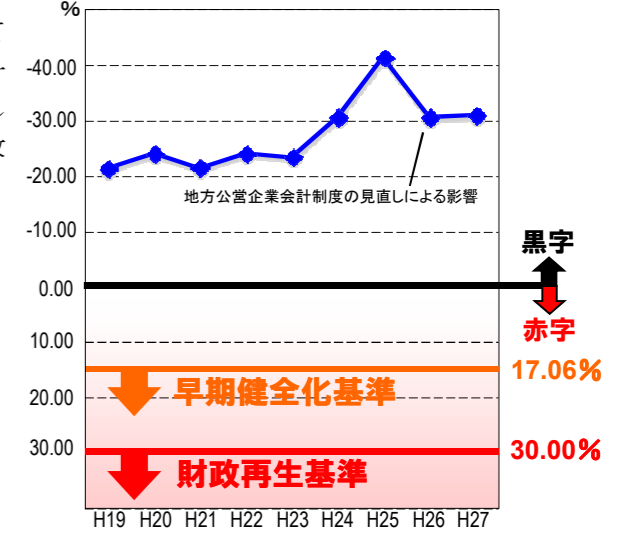
黒字
堅持



◆ 連結実質赤字比率

一般会計の他、すべての特別会計、企業会計の赤字や黒字を合算した赤字の程度で、財政運営の深刻度を示す。

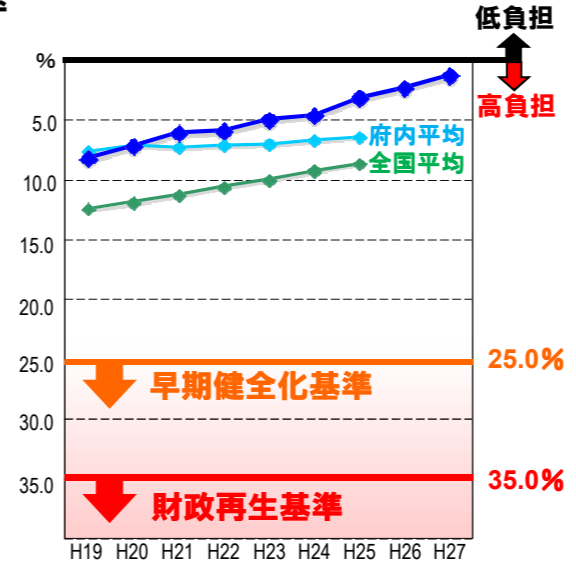
黒字
堅持



◆ 実質公債費比率

一般会計の市債の返済額などの大きさで、資金繰りの危険度を示す。

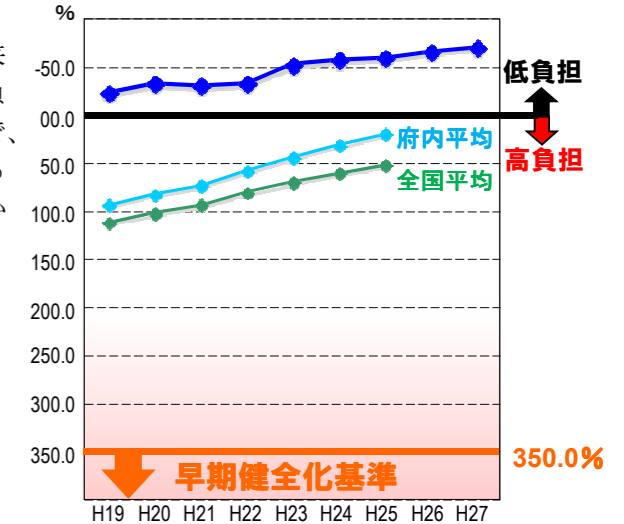
負担
軽減



◆ 将来負担比率

一般会計の市債や将来支払う可能性のある負担などの残高の程度で、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す。

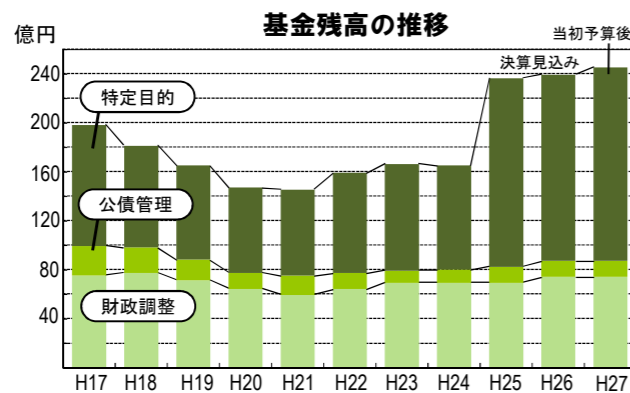
負担
軽減



収支バランスの状況

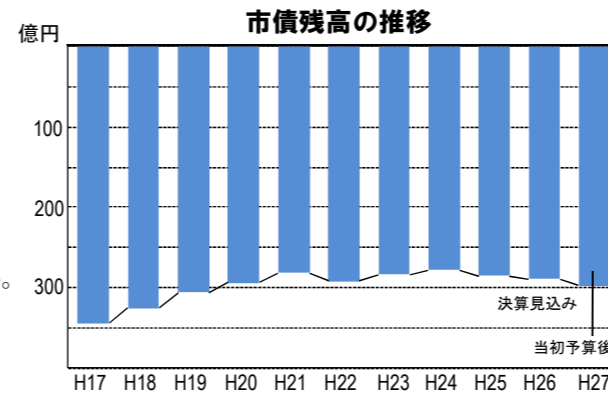
◆ **基金残高 (普通会計ベース)** 245億65百万円 <+6億27百万円、+2.6%>

取り崩しを必要最小限度の3億46百万円にとどめる一方、『北大阪急行南北線延伸整備基金』、『学校教育施設整備基金』などへの積立を行った結果、基金残高は6億27百万円増加した。(昨年同様、財政調整基金の取り崩しはしない。)



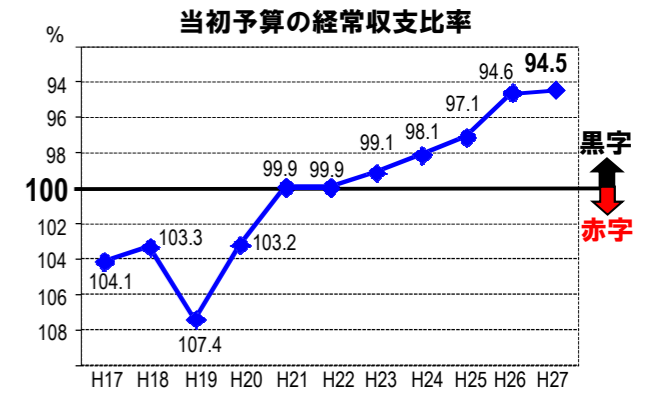
◆ **市債残高 (普通会計ベース)** 297億44百万円 <+6億51百万円、+2.2%>

約19億57百万円返済する一方、施設整備事業債などを約26億8百万円発行した結果、市債残高は約6億51百万円増加した。なお、臨時財政対策債は限度額まで全額発行せず、13億円の発行に抑えている。



◆ **経常収支比率** 94.5% <▲0.1ポイント>

人件費(退職手当)や社会保障関係費が増加したものの、市債の一部償還終了や病院事業会計への赤字補てんを廃止したことにより、昨年度から0.1ポイント改善。今回で5年連続の改善、7年連続の経常黒字(経常収支比率100%以下)の達成となる。



3. 主要施策の概要

I 安心・支えあい最優先

市民の安全・安心の確保と、地域の支えあいを醸成していく取り組みを進める。

1. 防犯カメラによる安全・安心なまちづくりの推進 【予算額 7,200 千円】

- 昨年度に設置した小・中学校通学路の防犯カメラ750台に加え、自治会が1台2万円程度で防犯カメラを設置できるよう、2年間限定で費用の9割を補助し、犯罪の未然防止と抑止力のさらなる向上を図る。

2. 「災害に強い箕面」の実現 【予算額 44,700 千円】

- 昨夏の台風・ゲリラ豪雨による風水害を教訓に、「(仮称)箕面市水防整備指針」を策定する。全市域の地形や河川・水路・雨水管等の水の流れを分析したうえで、市全体のトータルかつ抜本的な水防対策を進める。

3. 健康長寿の取組強化とがん検診無料化の継続 【予算額 368,431 千円】

- 「第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、元気な高齢者や身体機能の回復をめざすかた向けに、介護予防教室の開催や地域の高齢者サロン等での健康・運動指導を実施し、市民の健康寿命をのばす。
- 「認知症初期集中支援チーム」の設置に向けて、新たに認知症地域支援推進員を配置する。
- 府内唯一のがん検診無料化を継続する。(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん・前立腺がん)

4. 高齢者・障害者等の移動を助ける「オレンジゆずるタクシー」の実証運行 【予算額 35,859 千円】

- 健康上などの理由で公共交通機関を利用しづらいかたが、乗りたいときに乗られるよう、本年1月にスタートした「オレンジゆずるタクシー」の実証運行を継続し、利用状況を検証しながら、より便利で快適な移動サービスの提供をめざす。

5. 市立病院における医療の充実と経営改革 【予算額 464,389 千円】

- 内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」などの先進医療機器を導入し、より高度な医療体制の整備を図る。また、「市立病院改革プラン」に基づき、毎年約9.6億円(※)であった一般会計から経常的経費への繰出金(赤字補填)を“ゼロ”とし、完全黒字化に向けてさらなる経営改革を進める。※改革プラン策定前の過去10年間(平成11～20年度)の決算の平均値

6. 「合葬式墓地」の募集開始 【予算額 4,674 千円】

- 市立霊園において、最大1万人のご遺骨を共同埋葬できる「合葬式墓地」の利用募集を開始する。

II 子育てしやすさ日本一

子育てがしやすく、子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境を整える。

1. 英語教育の充実 【予算額 102,730 千円】

- これまで7名だった英語指導助手を、約3倍の20名に増員する。全小・中学校20校に配置して、全学年で毎日、英語教育を本格実施し、子どもたちの国際理解やグローバル化社会を生き抜く力を育む。

2. 病気中の子どもを預かる「病児保育」の開始 【予算額 28,271 千円】

- 従来の「病後児保育」に加え、病気中の子どもを預かる「病児保育」を開始する。急な子どもの発病・発熱などにも事前登録なしで即日対応し、子育てと仕事の両立をめざす保護者を強力にサポートする。

3. 子どもの貧困・不登校等に対する支援と「いじめ撲滅」対策の強化 【予算額 11,512 千円】

- 不登校の子どもの学習意欲の向上や相談相手となる「学生サポーター」を、従来の約2倍(80名体制)に増員するとともに、新たに、生活困窮や不登校等の子どもの学力保障・学習支援等を一体的に取り組む体制を整える。
- 「箕面市いじめ防止対策推進協議会」を設置し、いじめ撲滅に向けた対策を強力に推進する。

4. 教育環境の充実と通学路等の安全確保 【予算額 566,698 千円】

- 急増する彩都地区の児童・生徒に対応して、彩都の丘学園の敷地拡張と校舎増築に向けた設計に着手するとともに、各小中学校の体育館やフェンス、消防設備等の施設改修を実施し、教育環境の充実を図る。
- 豊川南小学校前や東保育所前の歩道改良などにより、安全な通学路を確保するとともに、歩道と分離した自転車レーンの設置に向けて、自転車走行空間のネットワーク化の検討を進め、急増する自転車対歩行者の事故防止対策を推進する。

5. 待機児童対策と子育て支援の充実 【予算額 2,703,022 千円】

- 子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、認可外保育施設2園を認可保育所へ、私立幼稚園2園を認定こども園へ移行させるとともに、小規模保育事業所等を4箇所新設し、保育定員を310名増加させる。加えて、「第三次箕面市子どもプラン」に基づき、平成31年度までに約500名の定員拡大を図り、年度途中の待機児童の完全解消をめざす。
- 「中学校卒業まで(通院・入院とも/所得制限なし)」に大幅拡大した子どもの医療費助成を継続する。

III 緑・住みやすさ最先端

豊かな緑を守り、便利で住みやすく、元気で活力ある箕面をめざして、まちづくりを進める。

1. 北大阪急行線の延伸と周辺まちづくり 【予算額 1,826,023 千円】

- 2つの新駅と鉄軌道の詳細設計や許認可申請等の手続きを進め、平成32年度の開業をめざす。
- 「かやの広場」を残しつつ、バスロータリーなどの交通広場や、その上空を利用した商業・子育て機能を備える施設の検討を進め、ターミナル駅としての(仮称)新箕面駅周辺の整備を推進する。また、都市計画道路「萱野東西線」「芝如意谷線」の整備を進め、新駅へのアクセス性を強化する。
- 歩行者デッキや公園と一体となった開放感あふれる新駅の設計とともに、「グリーンホール」の建替移転など、新たな文化とビジネスの拠点となる(仮称)箕面船場駅周辺の整備を推進する。

2. 桜井駅周辺地区等の再整備 【予算額 304,291 千円】

- 平成26年5月に策定した「桜井駅周辺地区再整備計画」に基づき整備が進む民間商業施設の建替を支援するとともに、桜井駅前広場の実施設計や事業用地の取得を行い、にぎわいや活気あふれるまちの玄関口をめざす。
- 老朽化した西南公民館の建替に向けた詳細設計を進め、耐震性やバリアフリーの課題を解決し、公園等の周辺施設を含めて、子どもから高齢者まで誰もが利用しやすい施設整備を推進する。

3. ペットボトル全戸収集の開始 【予算額 65,492 千円】

- 従来のスーパーなどでの拠点回収を継続しながら、新たに月2回、市全域でペットボトルの全戸収集を開始し、資源リサイクルの推進と環境負荷の軽減を進める。

4. 箕面駅前第一駐車場・駐輪場のリニューアル 【予算額 672,378 千円】

- 駅前駐車場・駐輪場の平成28年度オープンに向けて、今春から建替工事に着手する。駐輪場を1階ワンフロアに集約するとともに、自動車駐車台数を20台増の285台に、自転車駐輪台数を65台増の744台にするなど収容可能台数を拡大する。また、駅前ビル2階と連絡通路でつなぎ、雨天時も濡れずに駅へのアクセスを可能とする。

5. 「中央公園」の整備による山なみ景観の保全 【予算額 132,640 千円】

- 箕面の山なみの中央に位置する区域を、地形や樹木等を最大限“そのまま”に残した「中央公園」として整備し、みどり豊かな山なみ景観を保全する。

6. 図書館等の月曜開館の実施 【予算額 89,715 千円】

- 月曜日の祝日化(ハッピーマンデー)に伴い、図書館や生涯学習センター等の休館日を変更し、月曜開館を実施して、市民の利用を拡大する。
- 公共図書館(7館)と学校図書館(20館)のシステムを一本化し、100万冊以上にのぼる蔵書の相互利用を図る。

7. 下水道使用料の値下げ

- 老朽化した管路の耐震化や更新を進めながら、経営改革の推進により生み出した黒字分を市民に還元すべく、下水道使用料の値下げを検討する。

<持続可能な財政運営>

- 昨年3月に制定した「箕面市財政運営基本条例」に基づき予算編成を行い、箕面の安定した財政を将来にわたって確実に引き継ぐ。
- 国が示す「新地方公会計制度」の適用に向けて、固定資産台帳の整備等を進め、これまで以上の行財政運営の透明化と効率化へとつなげる。 【予算額 4,303 千円】

4. 主要施策

平成27年度（2015年度）主要施策

I 安心・支えあい最優先

1. 防犯カメラによる安全・安心なまちづくりの推進

昨年度に設置した小・中学校通学路の防犯カメラ750台に加え、自治会が1台2万円程度で防犯カメラを設置できるよう、新年度からの2年間限定で、費用の9割を補助し、犯罪の未然防止と抑止力のさらなる向上を図ります。

また、子どもが不審者等に危険を感じたときに駆け込める「こども110番」の設置箇所を現在の約1,000箇所から約1,500箇所へ増やし、地域ぐるみで子どもたちを見守ります。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・750台の防犯カメラの管理と、自治会が実施する防犯カメラ設置費用の9割を補助	7,200	総務部
・「こども110番」プレートの設置箇所を約1,500箇所に拡大	788	子ども未来創造局

2. 「災害に強い箕面」の実現

昨夏の台風・ゲリラ豪雨による風水害を教訓に、「(仮称)箕面市水防整備指針」を策定します。全市域の地形や河川・水路・雨水管等の水の流れを分析したうえで、市全体のトータルかつ抜本的な水防対策を進めます。

また、止々呂美・箕面森町地区のミニ災害対策本部「箕面北部特別対策部」に軽四輪駆動車やMCA無線機等を整備し、災害対応時の機動力を高めます。

大地震などの災害に備え、毎年1月17日に実施している全市一斉総合防災訓練では、新年度も休日(日曜日)開催となる機会をとらえ、安否確認や避難所までの徒歩避難訓練に加え、地区防災委員

会ごとに市民参加に重点を置いた訓練を実施し、住民ぐるみで安全意識の高いまちづくりを進めます。

「地域防災ステーション」として、公園等10か所(平成25年度から28年度までに60か所)に消火・救助用資器材等を納めた大型ベンチを配備し、地域の災害救助の拠点づくりを進めます。

無料で実施している木造住宅の耐震診断を加速するため、対象となる約1万戸の建物所有者に古い木造住宅の危険性と耐震診断の重要性を直接通知し、耐震化率の向上を図ります。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・市全体のトータルかつ抜本的な水防対策を進めるため、「(仮称)箕面市水防整備指針」を策定	44,700	総務部
・「箕面北部特別対策部」に軽四輪駆動車やMCA無線機等を整備	26,895	総務部
・平成28年1月17日(日曜日)の全市一斉総合防災訓練で安否確認や避難所までの徒歩避難訓練などを実施		
・「地域防災ステーション」として、公園等10か所に消火・救助用資器材等を納めた大型ベンチを配備	7,400	総務部
・約1万戸の所有者に木造住宅の危険性と耐震診断の重要性を直接通知。木造住宅の耐震診断の無料化、工事費用の一部助成を継続	68,213	みどりまちづくり部

3. 健康長寿の取組強化とがん検診無料化の継続

新年度から始まる「第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、元気な高齢者や身体機能の回復をめざすかた向けに、介護予防教室の開催や地域の高齢者サロン等での健康・運動指導を実施します。

また、地域の公園など身近なフィールドを利用したラジオ体操や滝道でのウォーキングイベントなど、市内企業等の協賛を得て、市民が無理なく長く運動を続けられる環境を整備し、市民の健康寿命の延伸を図ります。

「認知症初期集中支援チーム」の設置に向けて、新たに認知症地域支援推進員を配置し、認知症対策の推進を図ります。

府内唯一のがん検診無料化を継続します。(胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん及び前立腺がん)

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・介護予防教室の開催や高齢者サロン等での健康・運動指導を実施	25,996	健康福祉部
・身近なフィールドを利用したラジオ体操や滝道ウォーキングなどを通して、無理なく長く運動を続けられる環境を整備	147	健康福祉部
・「認知症初期集中支援チーム」の設置に向けて、新たに認知症地域支援推進員を配置	8,595	健康福祉部
・がん検診無料化の継続(胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん及び前立腺がん)	333,840	健康福祉部

4. 高齢者・障害者等の移動を助ける「オレンジゆずるタクシー」の実証運行

健康上などの理由で電車やバス、一般タクシーなどの公共交通機関を利用しづらかったが、乗りたいときに乗られるよう、本年1月にスタートした福祉有償運送「オレンジゆずるタクシー」の実証運行を継続し、利用状況を検証しながら、より便利で快適な移動サービスの提供をめざします。また、これまで実施していた福祉予約バスの利用登録者(約600人)に対しては、毎月2,400円分の無料利用券を配布し、利用者負担を軽減します。加えて、利用促進策として、介護認定を受けられたかたや障害者手帳をお持ちのかたなどに対して、利用状況を見ながら、お試し利用券(延べ4,000人分)を配布します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・福祉有償運送「オレンジゆずるタクシー」の実証運行の継続と利用券・お試し利用券の配布	35,859	健康福祉部

5. 市立病院における医療の充実と経営改革

内視鏡手術支援ロボット「ダビンチ」などの先進医療機器を導入し、より高度な医療体制の整備を図ります。

「市立病院改革プラン」に基づき、毎年約9.6億円(※)であった一般会計から経常的経費への繰出金(赤字補填等)を“ゼロ”とし、完全黒字化に向けてさらなる経営改革を進めます。

(※)改革プラン策定前の過去10年間(平成11～20年度)の決算の平均値

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・内視鏡手術支援ロボット「ダビンチ」などの先進医療機器導入による高度な医療体制の整備	464,389	市立病院
・一般会計から経常的経費への繰出金“ゼロ”を達成し、完全黒字化に向けてさらなる経営改革を推進	—	市立病院

6. 「合葬式墓地」の募集開始

市立霊園において、最大1万人のご遺骨を共同埋葬できる「合葬式墓地」の利用募集を開始します。また、市立霊園の返還区画(20区画)において新たに使用者を募集します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・「合葬式墓地」の利用開始、市立霊園20区画の使用者募集	4,674	市民部

7. 消防・救急体制の充実

救助資器材搬送車両1台の更新整備を行います。また、消防協定に基づき、北部地域(止々呂美・箕面森町)での災害対応にあたる豊能町消防本部の主力車両(水槽付き消防ポンプ自動車)1台の一部費用負担を行い、消防・救急力を充実させます。

災害時の地域活動拠点となる消防分団格納庫2施設(稲、新稲)を建て替え、待機スペースを加えた格納庫兼詰所として再整備します。

高齢者世帯を重点とした住宅防火診断の実施や、住宅用火災警報器の啓発活動を強化し、火災による罹災のさらなる低減、抑制をめざします。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・救助資器材搬送車両1台の更新整備と、豊能町消防本部の主力車両(水槽付き消防ポンプ自動車)1台の一部費用負担	10,012	消防本部
・災害時の地域活動拠点となる消防分団格納庫2施設(稲、新稲)を格納庫兼詰所として再整備	76,200	消防本部
・高齢者世帯を重点とした住宅防火診断の実施や住宅用火災警報器の啓発活動の強化	377	消防本部

Ⅱ 子育てしやすさ日本一

1. 英語教育の充実

これまで7名だった英語指導助手を、約3倍の20名に増員します。全小・中学校20校に配置して、全学年で毎日、英語教育を本格実施し、子どもたちの国際理解やグローバル化社会を生き抜く力を育みます。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・全小・中学校20校に英語指導助手を配置し、全学年で毎日、英語教育を本格実施	102, 730	子ども未来創造局

2. 病気中の子どもを預かる「病児保育」の開始

従来の「病後児保育」に加え、病気中の子どもを預かる「病児保育」を開始して、急な子どもの発病・発熱などにも事前登録なしで即日対応し、子育てと仕事の両立をめざす保護者を強力にサポートします。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・「病児保育」実施に向けた萱野保育所の施設改修	27, 100	子ども未来創造局
・急な子どもの発病・発熱などにも事前登録なしで即日対応する「病児保育」と「病後児保育」を実施	1, 171	子ども未来創造局

3. 子どもの貧困・不登校等に対する支援と「いじめ撲滅」対策の強化

不登校の子どもの学習意欲の向上や相談相手となる「学生サポーター」を、従来の約2倍(80名体制)に増員するとともに、新たに、生活困窮や不登校等の子どもの学力保障・学習支援等を一体的に取り組む体制を整えます。

「箕面市いじめ防止対策推進協議会」を設置し、いじめ撲滅に向けた対策を強力的に推進します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・生活困窮や不登校の子どもの学力保障・学習支援のため「学生サポーター」を増員	11, 227	子ども未来創造局
・いじめ撲滅に向けた「箕面市いじめ防止対策推進協議会」を設置	285	子ども未来創造局

4. 教育環境の充実と通学路等の安全確保

急増する彩都地区の児童・生徒に対応して、彩都の丘学園の敷地拡張と校舎増築に向けた設計に着手するとともに、各小・中学校の体育館やフェンス、消防設備等の施設改修を実施し、教育環境の充実を図ります。

豊川南小学校前や東保育所前の歩道改良などにより、安全な通学路を確保します。

また、歩道と分離した自転車レーンの設置に向けて、自転車走行空間のネットワーク化の検討を進め、急増する自転車対歩行者の事故防止対策を推進します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・急増する彩都地区の児童・生徒の教育環境を確保するため、学校敷地の拡張と校舎増築に向けた設計に着手	63,500	子ども未来創造局
・各小・中学校の体育館やフェンス、消防設備等の施設改修	73,484	子ども未来創造局
・豊川南小学校前や東保育所前の歩道改良などにより安全な通学路を確保	429,714	みどりまちづくり部
・歩道と分離した自転車専用レーン設置に向け、自転車走行空間のネットワーク化を検討	—	みどりまちづくり部

5. 待機児童対策と子育て支援の充実

子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、認可外保育施設2園を認可保育所へ、私立幼稚園2園を認定こども園へ移行させるとともに、小規模保育事業所等を4箇所新設し、保育定員を310名増加させます。

また、民間保育園での一時保育実施園について、現行の4園に加え、新たに2園で実施します。

加えて、「第三次箕面市子どもプラン」に基づき、平成31年度までに、約500名の定員拡大を図り、年度途中の待機児童の完全解消をめざします。

新制度開始後も、就労世帯に保育所以外の選択肢を示すための市独自制度「子育て応援幼稚園保護者補助金制度」を継続します。新年度は、従来の私立幼稚園に加え、新制度の対象となる認定こども園も、箕面市が定める「子育て応援幼稚園」であれば、園児の保護者に対し補助金を交付します。

「中学校卒業まで(通院・入院とも/所得制限なし)」に大幅拡大した子どもの医療費助成を継続実施し、子どもたちの健康を守ります。

小児インフルエンザ予防接種費用の一部助成(生後6か月から小学6年生までを対象に2回助成するクーポン券方式)を継続実施し、小児インフルエンザの流行を抑制するとともに重症化を予防します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・子ども・子育て支援新制度に伴う認可保育所、認定こども園への移行(各2園)と小規模保育事業所等(4所)の新設、一時保育実施園2園の増設	2, 234, 203	子ども未来創造局
・「子育て応援幼稚園保護者補助金」の継続	460, 703	子ども未来創造局
・「中学校卒業まで(通院・入院とも/所得制限なし)」に大幅拡大した子どもの医療費助成を継続	468, 819	市民部
・小児インフルエンザ予防接種費用の一部助成(生後6か月から小学6年生までを対象に2回助成するクーポン券方式)を継続	22, 423	健康福祉部

6. 教員の授業力・指導力の向上

秋田県由利本荘市への視察を生かして、平成25年度に策定した「箕面の授業の基本」に、平成26年度1年間の授業実践・研究の成果を反映させた「箕面の授業の基本 Ver. 2」をもとに、子どもたちにとって「わかりやすい授業」「学びやすい授業」「学習意欲を高める授業」をめざし、箕面子どもステップアップ調査結果の活用など、教員の授業力・指導力の向上を図ります。

また、新たな教育委員会制度に基づき、市長と教育委員会で構成する「総合教育会議」を開催し、教育の目標や施策の根本的な方針について議論を尽くし、箕面の教育の方向性を分かりやすく示す「大綱」を策定します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・「箕面の授業の基本Ver. 2」による授業の実践や箕面子どもステップアップ調査結果を活用し、教員の授業力・指導力を向上	43,475	子ども未来創造局
・箕面の教育の方向性を分かりやすく示す「大綱」の策定	48	子ども未来創造局

Ⅲ 緑・住みやすさ最先端

1. 北大阪急行線の延伸と周辺まちづくり

2つの新駅((仮称)新箕面駅、(仮称)箕面船場駅)と鉄軌道の詳細設計や許認可申請等の手続きを進め、平成32年度の開業をめざします。

競艇事業収入6億円のうち、約63百万円を鉄軌道の詳細設計費(国費等を除く一般財源)や市債の利子償還に充てるほかは、残り約5億37百万円を「北大阪急行南北線延伸整備基金」に積み立て、延伸整備にかかる市負担の平準化と、市税に頼らない事業推進を図ります。

「かやの広場」を残しつつ、バスロータリーなどの交通広場や、その上空を利用した商業・子育て機能を備える施設の検討を進め、ターミナル駅としての(仮称)新箕面駅周辺の整備を推進します。また、駅へのアクセス性を強化する都市計画道路「萱野東西線」「芝如意谷線」の整備を進めます。

歩行者デッキや公園と一体となった開放感あふれる新駅の設計とともに、「グリーンホール」の建替移転など、新たな文化とビジネスの拠点となる(仮称)箕面船場駅周辺の整備を推進します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・2つの新駅と鉄軌道の詳細設計や許認可申請等の手続き	821, 171 (H25～29年度継続費)	地域創造部
・競艇事業収入のうち鉄軌道の詳細設計費及び市債利子償還分を除く全額を「北大阪急行南北線延伸整備基金」へ積み立て	537, 149	地域創造部
・バスロータリーなどの交通広場や、その上空を利用した商業・子育て機能を備える施設の検討を進め、ターミナル駅としての(仮称)新箕面駅周辺の整備推進	10, 626	地域創造部
・(仮称)新箕面駅へのアクセス性を強化する都市計画道路「萱野東西線」「芝如意谷線」の整備推進	963, 710	みどりまちづくり部
・歩行者デッキや公園と一体となった開放感あふれる新駅の設計とともに、「グリーンホール」の建替移転など、新たな文化とビジネスの拠点となる(仮称)箕面船場駅周辺の整備推進	30, 516	地域創造部

2. 桜井駅周辺地区等の再整備

平成26年5月に策定した「桜井駅周辺地区再整備計画」に基づき整備が進む民間商業施設の建替を支援するとともに、桜井駅前広場の実施設計や事業用地の取得を行い、にぎわいや活気あふれるまちの玄関口をめざします。

老朽化した西南公民館の建替に向けた詳細設計を進め、耐震性やバリアフリーの課題を解決し、公園等の周辺施設を含めて、子どもから高齢者まで誰もが利用しやすい施設整備を推進します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・にぎわいや活気あふれるまちの玄関口をめざし、桜井駅前の民間商業施設の建替支援、駅前広場の実施設計や事業用地取得を実施	286, 551	地域創造部
・老朽化した西南公民館の建替に向けた詳細設計を実施	17, 740	生涯学習部

3. ペットボトル全戸収集の開始

従来のスーパーなどでの拠点回収を継続しながら、新たに月2回、市全域でペットボトルの全戸収集を開始し、資源リサイクルの推進と環境負荷の軽減を進めます。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・新たに月2回、市全域でペットボトルの全戸収集を開始	65, 492	市民部

4. 箕面駅前第一駐車場・駐輪場のリニューアル

箕面駅前第一駐車場・駐輪場の平成28年度オープンに向けて、今春から建替工事に着手します。駐輪場を1階ワンフロアに集約するとともに、自動車駐車台数を20台増の285台に、自転車駐輪台数を65台増の744台にするなど収容可能台数を拡大します。また、駅前ビル2階と連絡通路でつなぎ、雨天時も濡れずに駅へのアクセスを可能とします。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・箕面駅前第一駐車場・駐輪場の平成28年度オープンに向けた建替工事に着手	672, 378	地域創造部

5. 「中央公園」の整備による山なみ景観の保全

箕面の山なみの中央に位置する区域を、地形や樹木等を最大限“そのまま”に残した「中央公園」として整備し、みどり豊かな山なみ景観を保全します。

市街地では、民有地のみどりを守り育てる市民主体の活動を継続して支援するとともに、山間部では、ナラ枯れの予防と被害の拡大を抑制する対策を継続して実施します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・地形、樹木等を最大限“そのまま”に残した「中央公園」の整備	132, 640	みどりまちづくり部
・市街地における民有地のみどりを守り育てる市民主体の活動を支援	5, 042	みどりまちづくり部
・山間部におけるナラ枯れの予防と被害拡大を抑制する対策を継続	8, 733	みどりまちづくり部

6. 図書館等の月曜開館の実施

月曜日の祝日化(ハッピーマンデー)に伴い、図書館や生涯学習センター等の休館日を変更し、月曜開館を実施して、市民の利用を拡大します。

公共図書館(7館)と学校図書館(20館)のシステムを一本化し、100万冊以上にのぼる蔵書の相互利用を図ります。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・図書館や生涯学習センター等の休館日を変更し、月曜開館を実施	1, 615	生涯学習部
・公共図書館(7館)と学校図書館(20館)のシステムの本体化	88, 100	生涯学習部

7. 下水道使用料の値下げ

老朽化した下水道管路の耐震化や更新を進めながら、「上下水道事業経営改革プラン」に基づく効率的な事業運営を進め、上・下水道料金の計量・徴収部門の業務委託化などで経費を圧縮します。

また、生み出した黒字分を市民に還元すべく、下水道使用料の値下げを検討します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・老朽化した下水道管路の耐震化及び更新	275, 694	上下水道局
・上・下水道料金の計量・徴収の業務全面委託化	70, 153	上下水道局
・黒字分を市民に還元すべく、下水道使用料の値下げを検討	—	上下水道局

8. 「箕面市農業公社」による農地保全と中学校給食との連携

引き続き、一般社団法人箕面市農業公社が、遊休化した農地を“活きた農地”として再生するとともに、中学校給食において、箕面産野菜を安定的に供給するシステムを確立し、農業を業として成立させ、都市に残る貴重な農地を持続・保全していきます。

また、地元農家がいつでも地域の学校に野菜を届けられるよう、各中学校に野菜用保冷庫を設置します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・一般社団法人「箕面市農業公社」の運営支援	1, 772	農業委員会事務局
・各中学校に野菜用保冷庫を設置	30, 644	子ども未来創造局

持続可能な財政運営

昨年3月に制定した「箕面市財政運営基本条例」に基づき予算編成を行い、箕面の安定した財政を将来にわたって確実に引き継ぎます。

国が示す「新地方公会計制度」の適用に向けて、固定資産台帳の整備等を進め、これまで以上の行財政運営の透明化と効率化へとつなげます。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・「箕面市財政運営基本条例」に基づく予算編成	—	総務部
・「新地方公会計制度」の適用をめざした固定資産台帳の整備等	4, 303	地域創造部